

すなやま支援員

VOL.35 だより



令和3年3月 発行

発行者:砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設:ぎよぎよかい めでたや

住所:塩谷1181 電話・告知端末:62-7273



お彼岸

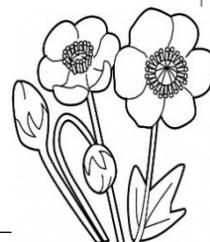
日差しも温かさが増しすっかり春らしくなってきました。

『暑さ寒さも彼岸まで』冬の寒さは春分頃まで、夏の暑さは春分頃までには和らぎ、しのぎやすくなるという意味の日本の慣用句です。

春と秋のお彼岸にお墓参りをするのは、昔から日本の伝統行事です。お彼岸とは仏教の思想の一つで、私たちが生きている現世を「此岸しがん」と呼ぶのに対し、成都市の境界を越えたはるか西方にある解放された世界を「彼岸」と呼ぶそうです。

春分の日と秋分の日ちょうど太陽が真西に沈むので此岸と彼岸の距離が近くなる人考えられ、お墓参りして故人を偲ぶようになったという説があります。

春分の日、自然をたたえ生物をいつくしむ、秋分の日先祖を敬い、亡くなった人を偲ぶ、自然や先祖を大切にしている日本ならではの伝統文化として、現在まで続いている習慣です。



めでたやでもお彼岸の仏花やお墓に立てる花の注文を頂き、販売させていたのですが、今年はコロナウイルスの関係で、冠婚葬祭が減り、花農家の方が作っても採算が合わないなどの理由で、市場に出荷される花の数が少なく、苦労しました。

価格を抑えると、束が小さくなり、見栄えが良い束にすると、例年より価格が上がってしまうジレンマに悩まされながら、花屋さんと交渉して、注文に対応しました。

春先なので、自家用に花を育てている人も少なく、一度買っていかれてから、ちょっと足りなかった！立ててみたらもう少し欲しいと何度も足を運んでくださる方もいらっしゃいました。めでたやで販売しているお花は、売れ残ったものは、全部お花屋さんへ引き上げてもらっているのですが、利幅はほとんどありませんが、その分、注文を頂いたものについては、盛りがよくなるようにとかお花が長持ちする種類でと、事前に打ち合わせをして作ってもらうようにしています。

お客様の中には、自分のお家のお墓のお花だけではなく、本家の花と親戚のお花も買っていく姿が見受けられます。「お嫁に来てから欠かさず立てているんだよ。代が変わったら、こんな風に熱心にすることもなくなるかもしれないね。」と少し寂しそうでした。人口が減少している今、もう一度、お家同士のつながりや、どこまでどうすればよいのか、お家で話をするのも大切なことかもしれません。

**令和3年度
大腸がん検診のご案内と胸部レントゲン間接撮影について
(申込者のみ)**

○大腸がん検診について

日 程	受付時間	対象集落	会 場
4月27日 (火)	8:30 ~ 9:20	福田、北新保	神林農村環境 改善センター
	9:30 ~ 10:20	牛屋、長松、赤松	
	10:30 ~ 11:20	塩谷	

- 【持ち物】**
1. 大腸がん検診個人記録票 ⇒ 問診欄を記入しておいてください。
 2. 検便容器（2日分）⇒ みどり色（提出用）の袋に入れて下さい。
 3. 検診料 500円（70歳以上は無料）おつりのないよう
 4. 新型コロナウイルス感染症予防対策問診票
⇒ 問診欄を記入しておいてください。

○胸部レントゲン間接撮影について

日 程	受付時間	対象集落	会 場
4月27日 (火)	8:30 ~ 9:20	福田、北新保	神林農村環境 改善センター
	13:00 ~ 14:00		
	9:30 ~ 10:20	牛屋、長松、赤松	
	14:00 ~ 15:00		
	10:30 ~ 11:20	塩谷	
	15:00 ~ 16:00		

大腸がん検診と同日に実施します。

なお、午前は大腸がん検診を受ける方を優先とさせていただきます。

あらかじめご承知おき願います。



【問合せ先】

神林支所地域振興課地域福祉室 ☎0254-66-6113

すなやま支援員だよりについてご意見、ご希望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

メールアドレス sunayama-shien@sea.plala.or.jp